

グローバルファシリテーター育成塾の受講を歓迎します。

拓殖大学総長・国際協力研究機構長
渡辺利夫

グローバル人材育成が急務です。グローバリゼーションが、とめどもない世界の潮流となった現代、この潮流に勇気をもって乗る気概が不可欠です。

この新しい塾は、副題に本学の第2代学監であった新渡戸稲造の名を掲げています。新渡戸の世界に対する見方・実践を学ぶとともに、本学の建学以来の理念を踏まえた現代のグローバリストを育成します。

グローバル人材とは、無国籍な人間のものではありません。むしろ世界がグローバル化すればするほど、自国の言語、歴史、文化的伝統に深い理解と愛情が必要となります。自らのアイデンティティに誇りと愛着をもってこそ、真のグローバリストとして世界に通用します。

高い志をもった学生諸君の受講を心から待っています。



新渡戸稲造に学ぶグローバルファシリテーターの哲学

“グローバルファシリテーター”とは、拓殖大学の校歌にある「人種の色と地の境 我が立つ前に差別なし」といった視点を持ち、建学の精神に基づいた「地の塩」となって貢献しうる人材のことを言う。つまり、グローバル化する世界において通用するモノの見方と倫理観を持ち合わせながら、現場におもむき、耳を傾け、しっかりと声をひろって問題を解決していこう、よりよい社会を形成していこうという気概をもった人材のことを言う。

このことは、まさに新渡戸稲造の考え方・生き方と重なってくるものである。

今、ファシリテーターが必要とされている！

① ビジネス分野

～カルロス・ゴーン氏がCEO（最高経営責任者）に就き、日産をV字回復させていった背景には、社内に1000人以上ものファシリテーターを育成し、組織改革を進めていったからだとも言われています。

② 教育分野

～新学習指導要領で謳われている「思考力・判断力・表現力等の育成の重視」では、参加型の手法を活用した授業形態が求められ、教師にはファシリテーター的な資質が必要となってきます。

③ 地域・コミュニティ

～復興支援や地方創成など、新たなまちづくりをおこしていくプロセスにおいて、多様なステークホルダーの意見を取りまとめていくファシリテーターの存在は欠かせません。

④ 国際協力分野

～現地の人に寄り添い、きちんとニーズを掘り起こすため、現場では住民参加型の手法がとられています。そこで必要とされ、活躍しているのがまさにファシリテーターです。

● 事務局（問い合わせ先） ●



学務部 研究支援課

〒112-0012 東京都文京区大塚1-7-1 拓殖大学G館

Tel : 03-3947-7595 Fax : 03-3947-2397

E-mail : Global_2015@ofc.takushoku-u.ac.jp

平成27年度

拓殖大学

グローバルファシリテーター育成塾

～新渡戸稲造に学ぶグローバル人材～

第1期生(前期)募集



概 要

グローバル人材育成が急務であるといわれるなかで、拓大生にふさわしい現場型リーダーとしてのファシリテーターを育成するために、新しい「塾」を創設します。

先行きの見えない不確実性の高い現代社会において、求められるリーダーとはトップダウンの指導型ではなく、人々に寄り添い、人々と対話し、人々を巻き込みながらボトムアップで可能性を切り拓いていく協働型の人材です。多様な価値観が交流するグローバル化した世界においては、議論を促し、とりまとめ、問題解決に向けて実践する力とスキルが必要とされています。まさにそうした場で活躍できる人を「グローバルファシリテーター」と呼びます。この新しい「塾」では、学校教育、企業活動、国際協力などの分野で活躍できるリーダーとしてのファシリテーター育成を行います。

本学の第2代学監であり、国際社会で多大なる貢献を果たした新渡戸稲造の生き方・考え方に学び、“拓大的グローバル人材”としてのグローバルファシリテーターを育成します。

グローバルファシリテーター塾に求められる要件はただひとつ、社会性をもった高い志（こころざし）です。自分と向き合い、他者への配慮・目配りができる人間として成長したいと考える高い志のある拓大生のみなさんの応募を心からお待ちします。

■ 募集人員：20名程度

■ 対 象：外国語学部、国際学部、工学部の2～4年生（平成27年4月入塾時）

■ 内 容：ファシリテーションの基本スキル習得、学校・企業・国際協力・地域でのファシリテーションスキルの応用、フィールドワーク（国内／国外）、アクションプランの作成・実施、新渡戸稲造研究など

■ 開講時期・場所：2015年4月～9月（八王子国際キャンパス）

■ 開 講 日：金曜日2限（11:00～12:30）に月3回程度。他に宿泊を伴う課外学習、合宿を予定。

■ 受 講 料：無料 ※但し、合宿、フィールドワークでかかる実費は各自負担。

カリキュラムの特長

- ①講義（理論）と演習（実践・スキル）の両面からファシリテーションの基礎をおさえます。
- ②身についたファシリテーションスキルを試す場として「自分プロジェクト」が用意されています。
- ③学部を越えたメンバーで互いに切磋琢磨しながら、成長することができます。
- ④ファシリテーターとして各界で活躍する方々を外部講師として招きます。
- ⑤実際の現場に赴いて研修、交流する岩手フィールドワークやグローバルイシュー解決に向けた海外の現場に触れる海外研修が用意されています。
- ⑥正規のカリキュラムでの学びを補強するための特別企画（学内公開セミナー／国内外インターン）が設定されています。

こんな力がつきます！

- ①会議を上手に運営できたり、意見が活発に出てくるような場の進行役を務めたりできるようになります。
- ②明朗快活に、かつ理路整然とプレゼンテーションができたり、グループディスカッションできちんと自分の主張を踏まえた発言ができたりするようになります。
- ③演習、実践、アウトプットを重視した参加型カリキュラムで、行動力・発信力が身につきます。
- ④自らプロジェクトを立ち上げ、それを進める過程で、社会人基礎力が育成されます。

〔 講座運営責任者：赤石和則 国際開発教育センター長
石川一喜 国際開発研究所准教授 〕

カリキュラム

回	開講日 （※予定を含む）	内 容 （ 予 定 ）
1	4月17日（金）	・開講式 ・基調講演「新渡戸稲造に何を学ぶのか」（拓殖大学総長 渡辺利夫）
2	4月25日（土）～ 26日（日）	・講義1：「新渡戸稲造と拓殖大学～グローバルファシリテーターの精神とは何か」（拓殖大学学長 高橋敏夫予定） ・講義2：ファシリテーターの定義とファシリテーションの今日的重要性 ・演習：〈基本スキル編①〉場を作り、場を読む 〈基本スキル編②〉議論を構造化し、まとめる 〈基本スキル編③〉意見を引き出し、対話を生み出す 〈自分プロジェクト〉プラン作成と発表
3	5月8日（金）	〈基本スキル編④〉演習：対立を解消し、合意形成する
4	5月22日（金）	〈基本スキル編⑤〉演習：プログラムをデザインし、深める
5	5月29日（金）	〈応用発展編①〉講義 企業におけるファシリテーションの重要性（外部講師）
6	6月5日（金）	〈応用発展編①〉演習・グループディスカッション
7	6月12日（金）	〈応用発展編②〉講義 学校におけるファシリテーションの重要性（外部講師）
8	6月19日（金）	〈応用発展編②〉演習・グループディスカッション
9	6月26日（金）	〈応用発展編④〉講義 国際協力における演習・ファシリテーションの重要性（外部講師）
10	7月3日（金） ～5日（日）	【課外学習】フィールドワーク ・先達に学ぶ～新渡戸稲造のゆかりの地（岩手）を訪ねる 盛岡先人記念館または花巻新渡戸記念館（予定） ・〈応用発展編③〉 講義：コミュニティにおけるファシリテーションの重要性 演習：地元の大学生、社会人との演習・グループディスカッション
11	7月10日（金）	〈応用発展編④〉グループディスカッション（学びのまとめ）
12	9月18日（金）	・塾生たちによる報告会 「自分プロジェクト、アクションプラン発表」 ・修了式

〈特別企画〉

1	7月17日（金）	【『新渡戸稲造ものがたり』の著者・柴崎由紀さんと語ろう】（予定） ゲスト：柴崎由紀氏 コーディネーター：渡辺利夫総長
2	夏休み期間	【海外研修】有志参加 *夏休み期間中に海外研修を実施する。
3	全開講期間	【国内、海外インターン】 企業、国際機関、NGOなどでのインターン研修参加